第1回 丹波篠山 山城ネットワーク会議 活動報告

高城山へ登ろう会 山口 喜昭 2025.6.26



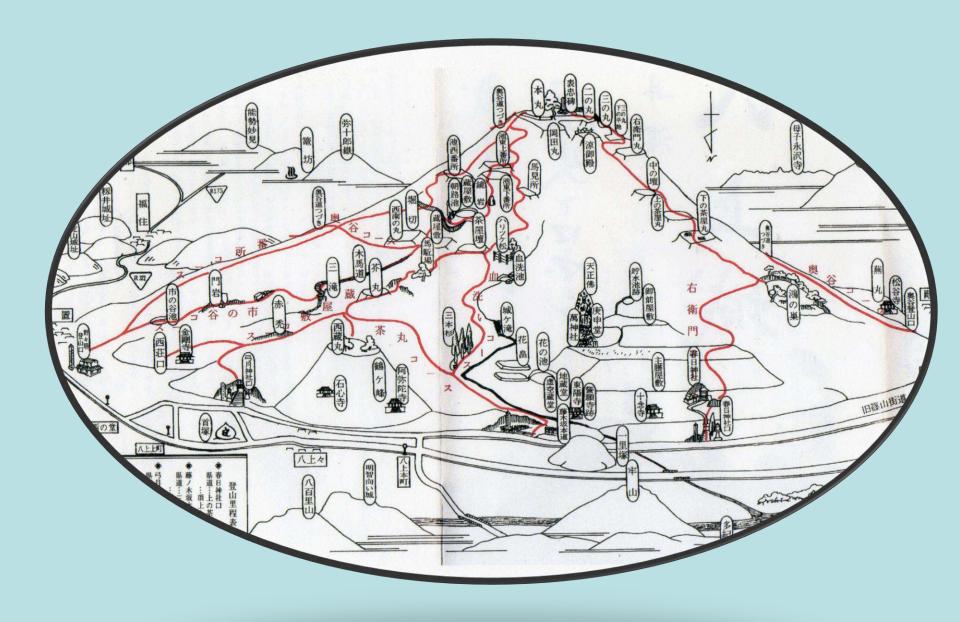
第1回 高城山へ登ろう会 2013.5.5



市の谷コース整備 2014.4.13



「波多野秀治公表忠碑」案内板設置



高城山登山道 7コース



高城山7コースに挑戦 殿町松谷寺前 2020.3.16



市の谷コース 駐車場完成 2020年10月



丸太橋3ヶ所架け替え 2021.2.27



高城山頂二の丸跡に「案内板」2022.4.4 完成



丹南児童館の子供たち 山頂二の丸 2023.3.27



山頂からの雲海 東方面 2024.11.20

戦国時代、

織田信長による

高城山へ登ろう会」幹事

山口 喜昭さん (74) — 丹波篠山市野々垣

暮らすことに。少年時代、子 ども会の行事で登った愛着深

白知ちらしを作成し、初の一登 っと、13年に「思いつきで」

もつと親しんでもらお

多野秀治が拠点とした山城・ 光秀に立ち向かった武将・波 まな活動にかかわるが、 の幹事を務める。地域を盛り の人々に知ってもらおうと設 の人生、思いつき」と冗談め 立された「高城山へ登ろう会」 てきた地元の名峰をより多く 復富士」とも呼ばれ、 0211 かし、その取り組みはあくま げようと、ほかにもさまざ 上城の跡が残る高城山(4 天正の丹波攻め」で、 丹波篠山市野々垣=は、「丹 山口書昭さん(74) 愛され 明智

で自然体だ。 のころに登山会を開催。 「登ろう会」では毎年新級

木曜日

説などを解説し、戦国時代に のポイントで、 沿いにある「野々垣市の谷コ 入あり、

最もなだらかで

渓流 順を目指す。登山道は7コー や京阪神からの参加者らと山 時間歩く。 地元に残る伝 道

スすべてを一日で走破すると 思いをはせてもらう。 施。近年は、 いうハードなイベントも実 5年前には、登山道プコー 山上から雲海を

あり、収穫されたマツタケが幕府へも献上されたという=高城山を背にした山口喜昭さん。江戸時代、山には藩有林が

丹波篠山市内

企画している。 眺める早朝登山会も、 手酒造会社「月桂冠」に就職。 校を卒業後、京都・伏見の大 営業畑を歩き、四国支店長を 野々垣生まれで篠山産業高 晩秋に た。故郷を離れ、

持ちになった。丹波篠山のシ れているよう。ほっとした気 る高城山の姿は「出迎えてく ンボルーと力を込める。 定年退職で2010年に実

家に戻り、 高城山の麓で再び 帰省時に見

務めるなど国内各地に赴任し

KOBE-NRCOJE 丹波びと>「高城山へ登ろう会」幹事 山口喜昭さ 自然体で地域を盛り上げ

自然体で地域を盛り

多紀郷友会」の会報「郷友」

丹波篠山市出身者らでつくる どを並べ販売する「野々垣ガ などに地道に取り組んでき 翌年から、仲間と登山道整備 ろう会」を開くと好評だった。

トラックに工芸品や骨蘭品な

地元公民館で、住民らが軽

レージセール」も主催。一方、

仏頼にも応じている。

た。各種団体からの「登山コ

スを案内してほしい」との

音楽ライブも企画した。 思い出などを基にした小説 つちんなど、多様な品を並べ、 冠の看板や旧国鉄・篠山線の と文筆活動にもいそしむ。 駅名標、 アカンショ節のちょ 似裏ぎゃらりー」には、月桂 にたびたび寄稿。少年時代の 丹波の山猿」を発表するな 自宅の一部を改修した「屋 「これからも無理せず、好

きなことをやっていきたい」 (堀井正純)

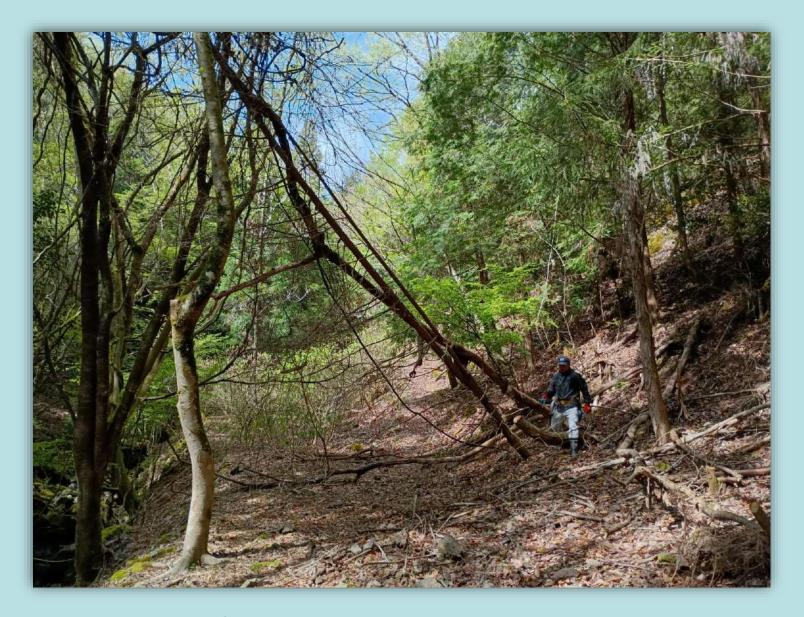
2025.1.9「熱中 丹波びと」 神戸新聞



高城山へ登ろう会協力隊 2025.4.29



登山道整備 2025.4.29



登山道整備 倒木処理 2025.4.29



第13回 高城山へ登ろう会2025.5.4 51名参加



山頂で、デカンショ踊り 2025.5.4



二の丸跡から、市街地望む 2025.5.4

「雲海に会えるかい」予定 11月22日(土曜) 6時30分集合





篠山城跡から八上城跡・高城山望む